

常任委員会の報告

文教福祉委員会

6月定例会で付託された議案4件について報告する。

◆国民健康保険税条例の一部改正
問 軽減判定所得の基準額が引き上げられるが対象世帯数は。

答 30年度のデータで試算をしたところ、7割軽減は2661世帯、5割軽減は1450世帯、2割軽減は1055世帯が該当となる。

問 新たに対象となる世帯への周知は。

答 税額が下がるということもあり、特に周知はしていない。

◆介護保険条例の一部改正
○以上2件は原案のとおり可決

◆一般会計補正予算(第2回)
問 英語教育強化推進事業の具体的な事業内容は。

答 英語によるコミュニケーションを図る資質、能力の育成を主な内容とし、公開授業、研究協議等を通して普及していく。大学教授による指導を受けながら尾田蒔小・中学校で研究を図っていく。
問 各種教育研究・研修事業40万円の内容は。

答 県の事業である「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業に係る経費で、教材作成用として、トナー、用紙代、教材作成に係る図書購入等36万円と先進校視察等の旅費4万円を計上。

問 放課後児童対策事業59万円の内容は。

答 吉田小学校内に設置している吉田学童保育室について、待機児童の解消を図るため、2つある保育室のうち1つを移転することに伴い、エアコン設置工事を行うもの。

意見 幼児教育無償化を行った場合、子ども1人当たりの軽減額が所得の高い世帯のほうが大きくなり、低所得世帯の恩恵が少なくなる。無償化とは言いが完全な無償化でなく給食費等の負担が残ること、市町村負担が増えることにより、公立保育所の民営化に拍車がかかる懸念があるので反対する。

○挙手多数により可決

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)
○原案のとおり可決

総務委員会

6月議会で付託された議案5件について報告する。

◆専決処分(秩父市税条例の一部改正)
問 ふるさと納税で返礼品が過度になったため国の改正があったが当市の状況は。

答 総務省の指定制度が6月1日から始まり、当市は無事指定を受けたので、今までどおり控除される自治体である。

問 軽自動車税について、この改正によりどうなるのか。

答 今回を含め、今後3段階で改正になる予定。新規登録から13年を経過した軽自動車の翌年度の課税に対する重課の措置を今年度に限ったものとし、税額は、平成30年度と変更はなし。

◆専決処分(秩父市都市計画税条例の一部改正)
○以上2件は承認

◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
問 保証人はつけないといけないのか。

答 改正前の法律では、保証人が必置規定だったが、今回の改正により、保証人については、市の判断によることとされ、保証人を立てる場合は無利子とし、保証人を立てない場合は1%と改正した。

◆一般会計補正予算(第2回)
◆工事請負契約の締結(尾田蒔中学校舎大規模改造工事)
問 今回の工事では、校舎の耐震補強工事は実施するのか。また、木質化を含む内装改修工事の内容は。

答 この校舎は昭和57年3月に本体が完成、建築基準法の現在の新耐震基準を十分満たしているため耐震補強工事は行わない。
木質化の工事は、腰壁等を木質化する。その他、鉄製の間仕切り壁を木製の間仕切り壁に変更する。

問 今回の工事請負契約についての入札参加要件と入札状況は。

答 参加要件は、所在地が市内・準市内であること。特定建設工事共同企業体で構成員の数が2社または3社で、代表構成員は特定建設業の許可を受けているものであること。総合評定値が代表構成員は800点以上、代表構成員以外の構成員は600点以上であること。

問 今回入札に参加した企業は3団体で、総合評定値が800点以上となる会社は、市内・準市内に4社あるが、このうち特定建設業の許可を受けている会社は3社である。総合評定値が600点以上となる会社は20社ある。

○以上3件は原案のとおり可決



まちづくり委員会

6月定例会に付託された議案5件について報告する。

◆工場誘致条例の一部改正

問 補助対象範囲を宿泊施設やレクリエーション施設に拡大した場合、雇用の拡大に寄与するという点において、目的に合致しているのか。

答 レクリエーション施設、宿泊施設、いずれも一定の雇用が確保できるということで判断した。奨励金Aのみの対象にとどめたことにより、整合性を図っている。

◆下水道事業審議会の設置条例

問 下水道使用料に関する調査審議会の開催回数は。また、当該案件以降の審議会における審議内容は。

答 月に1、2回の計5回程度の開催を予定している。当該案件以降は、下水道事業基本計画の見直しや、経営戦略策定に関する審議をお願する予定である。

◆都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会の設置条例

問 委員は20人以内と規定しているが、市内の関係機関の代表者および公募による市民に関し、想定している委員数はあるか。

答 鉄道・バスなどの公共交通事業者、医療・福祉関係者、商工観光・不動産関係者、埼玉県の関係

機関職員を予定している。また、市報7月号において、市民2人の公募を予定している。

問 都市計画マスタープラン等の策定に際し、ワークショップの開催予定は。

答 ワークショップの開催は予定していないが、市内10か所の公民館等を利用して、説明会および意見交換会の開催を予定している。また、公共施設内に、パネルによる説明展示を行う予定である。

◆一般会計補正予算(第2回)

問 環境活動推進事業103万2千円の具体的な事業内容は。

答 市および姉妹都市である荒川区の子どもたちを対象とした、体験型環境学習による相互交流事業である。市内大滝地区および吉田地区において、間伐体験や秩父産木材を使用した木工体験等を行う予定である。

問 森づくり課が荒川下流域自治体に提案している、上下流交流のための環境教育事業との兼ね合いは。

答 相互交流事業は単年度事業であるため、荒川区に対し、今後は森林環境譲与税を活用して交流事業を継続していただきたい旨を働きかけている。

◆下水道事業会計補正予算(第1回)

○以上5件は原案のとおり可決

特別委員会の報告

議会改革特別委員会

3月19日、4月2日、5月8日、29日に委員会を開催し、「通年議会」、「秩父市手話言語条例」、「タブレット端末導入」について協議した。

◆通年議会

委員から、「導入は大きな変化なので、今期は協議し、次期で導入するかを調整してはどうか。」「通年議会を導入すると常任委員会を必要な時に開催できる。」「導入のメリット、デメリットを学ぶ。早い段階での導入には反対。」「もともと通年議会が必要なのか協議する。」等の意見が出され、先進市の視察を検討することで、意見が一致した。

◆秩父市手話言語条例

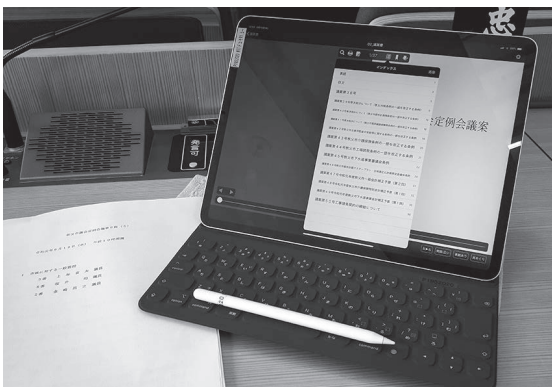
聴覚障がい者の方々の会議傍聴のための手話通訳者の配置について、配置以外にも、インターネット録画中継に後から録画した手話通訳の画像を入れての放送、AIを活用したリアルタイムでの文字情報化などについて協議を行った。協議の結果、手話通訳者の配置は、本会議および会期中の常任委員会において、傍聴しようとする会議が開かれる7日前までに申込みを行うとする「秩父市議会手話

通訳実施要領」を作成して、6月定例会から施行している。

◆タブレット端末導入

予算書および決算書を除き、当局および議会事務局から配布する資料について、データと紙との併用は本年9月定例会までとした。また、タブレット端末等の使用基準については「秩父市議会文書共有システム用情報端末使用基準」を作成し、6月定例会から実施している。

9月定例会までに事務局と議員のタブレット端末研修会を開催し、研鑽していく。今後とも、十分調査・検討を重ね、引き続き多様な項目を協議していくこととした。



6月定例会から導入したタブレット

6月定例会で審議した議案の結果


議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
		清流 9人	サン 3人	共産 3人	公明 2人	無会派 清野	金崎	
専決処分	市税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○
	都市計画法条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○
条例	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
	介護保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
	工場誘致条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
	下水道事業審議会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
	都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○
その他	工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○
補正予算	一般会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	×	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	下水道事業会計補正予算(第1回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
人事案件	教育委員会委員の任命(松本和雄氏)	同意	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦(豊田のぞみ氏)	同意	○	○	○	○	○	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団
公明：公明党 無会派：会派に属さない議員 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです(質問順に掲載)。

<p>① 黒澤 秀之(清流クラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 今後の西関東連絡道路の整備 2 存続に向けた県立高校4校との連携 3 地域の出張所機能 	<p>⑤ 清野 和彦</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 エリアマネジメントの手法 2 都市緑化の推進 3 観光誘客 4 下水道事業 	<p>⑨ 桜井 均(日本共産党秩父市議団)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 子育て支援 2 防災倉庫の現況 3 体育館へエアコン設置の検討は 4 龍勢祭の交通安全対策
<p>② 浅海 忠(清流クラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 副市長の市政に対する取組み 2 スポーツを核に行うまちづくり 	<p>⑥ 本橋 貢(公明党)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 投票所 2 障がい者の文化体育センター利用 3 防災における多言語対応 4 図書館の本の管理 	<p>⑩ 金崎 昌之</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 副市長から見た雇用と医療 2 全国学力テストの意義と影響 3 不登校の実態と支援
<p>③ 堀口義正(清流クラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 児童・生徒等の安全対策 2 学校給食問題 3 職員等(外郭団体職員等含む)の教育・研修等 	<p>⑦ 大久保 進(公明党)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 SDGsの取組み 2 踏み間違い防止装置への助成 3 女性管理職の登用・人材発掘 	
<p>④ 出浦 章恵(日本共産党秩父市議団)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 秩父新電力会社の実績と進捗状況は 2 ひきこもりの相談しやすい体制づくりを 3 命と人権の保障で個人の尊厳の尊重を 	<p>⑧ 上林富夫(サンライズ秩父)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 市立病院医療の現状 2 小中学校の教育 3 空き家の現状 4 姉妹都市関係 等 	

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧ください。